

訓練カリキュラム

訓練実施機関名: 株式会社学研コフアン

訓練実施施設名: 学研アカデミー介護士養成センター江坂会場

問合せ先住所:

大阪府吹田市江坂町1丁目23番101号 大同生命江坂ビル11階

問合せ電話番号:

06-6389-6393

■土日祝日訓練の有無:

☐ 全日あり / ☐ 一部あり / ☐ なし

■法定講習に係る補講:

☐ あり ☐ なし / ☐ 有料 ☐ 無料

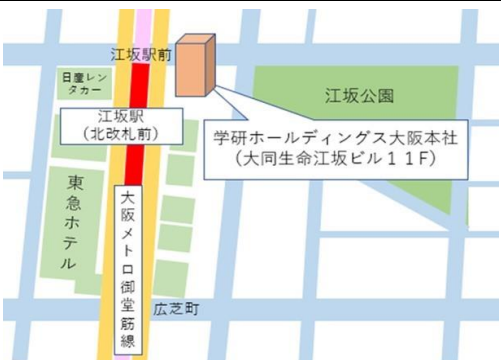
■租モデルによる訓練:

☐ あり ☐ なし

■合同開催による訓練:

☐ あり ☐ なし

訓練の種別	☒	実践コース (05 介護・医療・福祉分野)			就職を想定する職業・職種										
		職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)			託児サービスコース			短時間訓練コース (月80時間以上100時間未満)							
		「企業実習促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入			「職場見学等促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入										
訓練科名	介護職員初任者研修・行動援護・看護助手・レク介護士科								介護職員、訪問介護員、看護助手						
募集期間(予定)	令和7年8月1日 ~ 令和7年8月21日														
選考日(予定)	令和7年8月29日														
選考方法	☒	面接			筆記試験			その他 ()							
選考結果通知日	令和7年9月5日														
訓練期間	令和7年9月25日 ~ 令和7年12月24日 (3 か月)								(訓練日数 54 日)						
訓練時間	9 時 00 分 ~ 16 時 30 分						訓練定員	20 名							
訓練対象者の条件	特になし														
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)		新規学校卒業者 被災者			ニート等の若者 外国人			障害者 母子家庭の母等 その他 ()							
訓練目標 (仕上がり像)	介護職の専門員として、介護保険制度下での基本的な知識と技術を習得し、活用・応用力を養成、思いやりと「受容の心」をもって、介護が実践できるようになる。														
訓練修了後に取得 できる資格	名称 (介護職員初任者研修)				認定機関 (株式会社学研コフアン)			任意受験							
	名称 (行動援護従事者養成研修)				認定機関 (株式会社学研コフアン)			任意受験							
	名称 (レクリエーション介護士2級)				認定機関 (日本アクティブコミュニティ協会)			任意受験							
	名称 (看護助手認定実務者試験)				認定機関 (全国医療福祉教育協会)		☒	任意受験							
	名称 ()				認定機関 ()			任意受験							
① IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置(IT特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)															
② WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置(WEB特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)															
③ DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置(DSS特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)															
訓練内容	訓練概要		介護の初心者からでも学べる基礎から介護現場で役立つ技術を学ぶ。根拠に基づいた知識を習得するだけでなく、介護職としての心構え、自身も体を壊さないボディメカニクスを活用した介護技術を身につける。(訓練時間が異なります。詳細はコース案内をご覧ください。)												
	科目		科目の内容						訓練時間						
	学 科	開講式等		開講式、オリエンテーション(3H)、修了式(3H)											
		安全衛生		心身の健康管理、整理整頓の原則、メンタルヘルス、リスクマネジメント						1時間					
		職務の理解		多様なサービスの理解、介護職の仕事内容や働く現場の理解						6時間					
		介護における尊厳の保持・自立支援		人権と尊厳を支える介護、自立に向けた介護、人権啓発に係る基礎知識						10時間					
		介護の基本		介護職の役割、専門性と多職種との連携、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全						6時間					
		介護・福祉サービスの理解と医療との連携		介護保険制度、医療との連携とリハビリテーション、障がい者総合支援制度およびその他制度						11時間					
		介護におけるコミュニケーション技術		介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション						6時間					
		老化の理解		老化に伴うことからの変化と日常、高齢者と健康						6時間					
		認知症の理解		認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理、認知症に伴うことからの変化と日常生活、家族への支援						6時間					
		障がいの理解		障がいの基礎的理解、障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかり支援の基礎的知識、家族の心理、かかり支援の理解						6時間					
		ことからのだのしくみと生活支援技術(基本知識)		介護の基本的な考え方、介護に関するところののしくみの基礎的理解、介護に関するからのだのしくみの基礎的理解						14時間					
		振り返り		振り返り、就業への備えと研修修了後における事例						6時間					
		修了評価		筆記テスト(大阪府介護職員初任者研修事業指定要綱に基づく全科目筆記試験)						3時間					
		介護サービス事業所概論		介護サービス事業所の概要に関する知識の習得						6時間					
		行動援護(講義)		強度行動障がいがある者の基本的理解・制度及び支援技術の基礎的知識・チーム支援に関する講義・高度行動障がいと生活の相連に関する講義						12時間					
	看護助手における基礎知識		看護助手としての基礎知識及び概論						24時間						
	レクリエーション概論		介護におけるレクリエーションの知識						12時間						
	実 技	ことからのだのしくみと生活支援技術(生活支援技術)		生活と家事、快適な居住環境整備と介護、容容に関連したことからのだのしくみと自立に向けた介護、移動・移業に関連したことからのだのしくみと自立に向けた介護、食事に関連したことからのだのしくみと自立に向けた介護、入浴、清潔保持に関連したことからのだのしくみと自立に向けた介護、排泄に関連したことからのだのしくみと自立に向けた介護、睡眠に関連したことからのだのしくみと自立に向けた介護、死にゆく人に関連したことからのだのしくみと終末期介護、介護過程の基礎的理解、総合生活支援技術演習						75時間					
		介護技術演習		実技の確認テスト(整容、移動、移業、食事、入浴、清潔保持、排泄、睡眠)						36時間					
		レクリエーション演習		レクリエーションの意義、介護現場のレクリエーション						6時間					
		行動援護(演習)		基本的な情報収集と記録の共有に関する演習、行動障がいがある者の固有のコミュニケーションの理解に関する演習、行動障がいの支援に関する演習、記録に基づく支援の評価に関する演習、危機対応と虐待防止に関する演習						12時間					
看護助手における基本技術演習		看護助手を遂行するための基本技術						18時間							
応用技能演習		介護現場に即した応用的な介護技術						18時間							
企業実習		☒	実施しない				実施する								
職場見学、職場体験、職業人講話		【職業人講話】『介護サービスの種類と内容(電子記録使用事例含む)』について						6時間							
訓練時間総合計		306時間		学科	135時間		実技	165時間		企業実習	0時間		職場見学等	6時間	
受講者の負担する費用		教科書代		10,000円						合計		10,000円			
		その他 ()													
		備考 (法定講習欠席に係る補講費は3,300円(税込)/日(6時間))													
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)		☒	全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する											
				オンラインによっても指導する(当該日通所可能・混在型)				オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型)		オンライン計	時間				
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫		高齢者事業所であるサービス付高齢者向け住宅やグループホームを運営している会社のため、施設設備等有効活用し効果的な指導を行う。												
受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫		介護初心者でも理解できるよう図表や写真を多用した初心者でも理解できる学研オリジナルテキストを使用し、基礎から現場で活かせる知識や技術を学ぶ。													

訓練実施施設所在地地図	訓練実施施設住所: 〒 564-0063 大阪府吹田市江坂町1丁目23番101号大同生命江坂ビル11階 第1会議室
 The map shows the location of the training facility in Hirasaka, Osaka. Key landmarks include Hirasaka Station (江坂駅) and Hirasaka Park (江坂公園). The facility is located at the intersection of the Toei Subway Line (東急メトロ御堂筋線) and the Toei Subway Line (東急メトロ有馬町線). The facility is located at the intersection of the Toei Subway Line (東急メトロ御堂筋線) and the Toei Subway Line (東急メトロ有馬町線). The facility is located at the intersection of the Toei Subway Line (東急メトロ御堂筋線) and the Toei Subway Line (東急メトロ有馬町線).	